



|   |  |   |   |      |   |    |   |    |   |  |   |  |
|---|--|---|---|------|---|----|---|----|---|--|---|--|
| 学個別<br>校別<br>力・標<br>教4<br>師力<br>を向<br>上さ<br>せま<br>す   | 校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働けることができる魅力的な環境づくりを進めます。 | ①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。                                    | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 100% | 児童のアンケートより「授業がよくわかる。」に対して肯定的な回答の割合<br>保護者のアンケートより「学校は、学習習熟度に応じた指導を行い、確かな学力を育成していると思いますか。」   | 4: | 〈これまでの取組〉<br>・若手教員育成として校内OJTを進め、内容の充実を図っている。今年度は、若手教員の希望する教科の授業を、中堅・ベテラン教員が公開し授業力の向上を図った。<br>・第4学年から第6学年では理科と社会において教科担任制を行うことにより、専門性を生かした内容の濃い授業を展開した。<br>・授業を早く行うことで教職員が見通をもって職務に従事できるようになり、心身ともに健康な状態で児童と向き合うことができた。  | A  | 10  | ・入新井第五小学校の先生方は子ども一人一人をよく見て把握し対応してくれています。我々地域の者にも笑顔で接してくれますし、教員という仕事を楽しくてくれるように見えます。これからもよろしくお願ひします。<br>・①②は左記により、また③は保護者として、PTA4役員として知る限りにおいて学校評価は正しいと判断しました。<br>・毎月の予定表の中に「研究授業」が頻りにあるのを見かけます。日々先生方が授業を進化させる努力をされていると思います。低学年から算数を能力別に指導することにより、学習の取りこぼしを防いでいることがよく分かります。また、図工や算数など、専門の先生から学ぶことで子どもたちがより深く探究できていると学校公開の際に感じます。<br>・授業が分かりやすいと感じている児童が多いことから、校内OJTによる取り組みの成果が出ているのだからと感じています。今後も子供たちにとって安心して学べる環境作りを期待しています。   |   |  |
|   |  | ②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。  | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 94%  | 「教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っていると思いますか。」   | 3: | 〈今後の改善策〉<br>・来年度も毎月校内OJTの時間を設定し、中堅教員による若手教員への指導状況の報告及び意見交換会を定期的に行うことにより、若手教員や中堅・ベテラン教員が授業の参観し合える機会を増やしていく。<br>・本年度に引き続き、年間行事予定は、児童の生活リズムに合わせて、教職員が見通をもって職務にあたる環境を作る。  | B  | 3   | ・子供たちが楽しい学校生活を送るには先生方も「やりがい」をもってイキイキしてほしいです。先生達の中でも勉強会で若手の先生方にも自信をもって働かれることを望みます。<br>・先生方同士の良い関係は子どもたちにも伝わると感じます。  |   |  |
|   |  | ③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。                                  | 4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。<br>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。 | 94%  | 4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。<br>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。 | 3  | 4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。<br>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。   | 2: | 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。  | C  | 1 |  |
|   |  |   |   |      |   |    |   | 1: |   | D  |   |  |
| た自個<br>め分別<br>の目<br>学し<br>標<br>びを<br>い<br>支<br>き<br>援<br>い<br>き<br>ま<br>す<br>と<br>生<br>き<br>る   | 困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。                      | ①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携を行っている。                       | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 88%  | 児童のアンケートより「学校生活の中で、友だちや先生に自分の気持ちを伝えられたか。」<br>保護者のアンケートより「教員は、こどもの困っていることや悩みなどを理解し、誠実に対応していると思いますか。」                                 | 4: | 〈これまでの取組〉<br>・いじめに関する授業を全学年が毎年定期確実に実施した。年2回のいじめアンケートも確実に全学年で実施し、アンケート結果を基に児童への聞き取りを丁寧に行った。<br>・学級担任が各家庭への連絡を密に取ったり、個人面談を活用することで、保護者が育児に関して困り感を抱えていることに早く気づき、スクールカウンセラーに相談する方法を提案する環境がある。また、児童が休み時間やスクールカウンセラーに気軽に話に行く姿も見られる。<br>・スクールカウンセラーによる5年児童の全員面談を実施した。 | A  | 8   | ・スクールカウンセラーさんという存在が身近になっているようで保護者にとっても身近な相談相手として認識されていくといいと思いました。<br>・左記の情報では評価は難しいと判断いたしました。<br>・3年生の地域安全マップ作りの授業に参加した時に、協調性の成長がゆくりであり自己主張が強過ぎてグループ内で不協和音となりがちな児童には、補助の先生が笑顔で優しく声掛けしていたので安心しました。<br>・ごめんです。朝学校に入らず、うずまっている児童とその保護者や登校を嫌がる児童を認めて送っている保護者を見かけることがあり、先生、児童、地域の人の協力がよくなればよいなと思います。<br>・子供や保護者が相談しやすい環境を整えられており、学校が丁寧に対応していることが伝わってきました。今後も子供たちをみながら見守る取り組みが継続することを期待しています。<br>・子どもたちだけでなく家庭に対しての配慮に感謝します。   |   |  |
|   |  | ②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。  | 4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満の教員が回答した。<br>2:60%以上80%未満の教員が回答した。<br>1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。                     | 100% | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。          | 3  | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。   | 3: | 〈今後の改善策〉<br>・いじめを見逃さない姿勢を全教員がもち、早期発見ができるように金曜日実施する生活指導夕会での情報交換を密に行う。<br>・本年度のように全教員で児童を育てる意識をもち、学級、学年を超えてみんなで児童を見守っていく組織と継続する。                              | B  | 1 |  |
|   |  | ③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 94%  | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 3  | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。   | 2: | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。   | C  | 1 |  |
|   |  |   |   |      |   |    |   | 1: |   | D  | 1 |  |
| 安柔個<br>心軟別<br>なで<br>目<br>教<br>育<br>標<br>環<br>境<br>な<br>学<br>習<br>空<br>間<br>と<br>安<br>全  | 学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。   | ①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。   | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 94%  | 保護者のアンケートより「学校は、避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を行っていると思いますか。」  | 4: | 〈これまでの取組〉<br>・児童により防災訓練を実施し、保護者や地域の方々にも参加していただいた。地域防災の意義や地域の一員としての役割について学習する機会を設けた。<br>・地域防災訓練に多くの教職員が参加し、地域の方々と協力し防災拠点としての学校の立場を意識し、設置の方法を学んだ。   | A  | 10  | ・小さい時から防災に関して体験することはたいへんよいことと思います。ぜひ続けてください。<br>・児童による防災訓練に参加させていただいています。とてもよい取り組みだと思えます。児童の皆さんがとても頼もしい。今後、地域で活躍してくれることと思います。<br>・①は地域との連携により取組が正しく評価されている。②はアンケートなどにより学校評価が適切だと確認いたしました。<br>・6年生の児童やその行事に対して5年生以下の児童たちは、「いつかは自分も」という憧れの気持ちがあると思うので、特に5年生や4年生に避難訓練の様子などを写真で見せていくことが効果的だと思います。<br>・学校が防災拠点としての役割を意識した取り組みを行っている点が評価できると感じました。今後も地域と一体となって防災教育の充実を期待します。<br>・学校内だけでなく、地域を巻き込むことで子供たちと地域が年々近くなっていく感じがします。子供たちが提案→実施をすることで自分たちができること、できないことが分かり、できないときはどのようにしていくか考える機会だと思いで継続を期待します。 |   |  |
|   |  | ②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。   | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 100% | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 4  | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。   | 3: | 〈今後の改善策〉<br>・保護者や地域の方から取り組みの継続の要請もあり、子ども防災会議など今年度の取り組みを今後も改善しつつ継続する。<br>・コミュニティスクールとして地域との関わりをより密接にし、委員の皆さんと協働して作業を進めていく。                                   | B  | 3 |  |
|   |  |   |   |      |   |    |   | 2: | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。   | C  |   |  |
|   |  |   |   |      |   |    |   | 1: |   | D  |   |  |
| 学地学<br>校校<br>域校<br>をコ<br>ミ家<br>ミ家<br>庭<br>7<br>リ<br>ニ<br>マ<br>テ<br>地<br>域<br>の<br>核<br>連<br>と<br>携<br>し<br>て<br>協<br>働<br>に<br>よ<br>る | 地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。                           | ①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。   | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 88%  | 保護者のアンケートより「学校は地域・保護者との協力のもと、教育活動の充実に向けて頑張っていると思いますか。」<br>「学校は、教育活動の核や情報をホームページや学校だより、学年だより等を通して、保護者にきちんと伝えていっていると思いますか。」           | 4: | 〈これまでの取組〉<br>・学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールとしての活動を推進した。<br>・休日に行われるPTA行事、地域防災訓練等に教員が積極的に参加したり、学校の授業や行事に保護者や地域の方が参加したりする機会を設け、学校、保護者、地域が連携して活動した。<br>・交通安全指導員による登下校の見守りやPTAによる地域パトロールを実施した。   | A  | 10  | ・町会としては、何とか協力したいと思います。高齢者が多いので、<br>・地域防災訓練など大勢の教員の方々が参加してくださり、ありがとうございました。<br>・日々の活動に加え、コミュニティスクールなどの会議もあり学校の評価は適切であると判断しました。<br>・今年度はカムチャッカの地震による津波警報や台風による大雨に伴う冠水、校内に隣接する建物での殺人事件など、例年にはない出来事が多くありましたが、先生方の地域の見回りや校内での児童の待機など安全に配慮された行動に感謝しています。また、児童や児童館などへの連絡連携も素晴らしいと思います。<br>・地域や保護者と連携した取り組みや情報発信が適切に行われており、高い評価につながっていると感じました。「いんご日記」も楽しみにしています。<br>・岡野校長をはじめ、先生方が「学校運営協議会」の場を意見を言える環境作りをしてくださっていることに感謝ばかりです。参加している方々は皆さん「何かしら学校の役に立つなら」との思いをもっていらっしゃると思うので                              |   |  |
|   |  | ②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。   | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 94%  | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 3  | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。   | 3: | 〈今後の改善策〉<br>・コミュニティスクールとして地域との関わりをより密にしながら、委員の方と協働して作業を進めていく。<br>・毎日更新している「いんご日記」やホームページを活用し、本年度と同様に学校の様子を発信していく。<br>・本年度より運用されたtutoruを活用して、保護者や地域との連携を深める。 | B  | 3 |  |
|   |  | ③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。  | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 87%  | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。<br>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。<br>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。             | 3  | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。   | 2: | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。   | C  |   |  |
|   |  |   |   |      |   |    |   | 1: |   | D  |   |  |

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す